

平成19年度決算概要



1. 全会計について

平成19年度の益子町の全会計の歳入総額は12,703,925,340円、歳出総額は12,174,448,437円で、歳入歳出差引額は529,476,903円となっており、平成18年度決算額と比較しますと、歳入は386,758,933円(△3.0%)、歳出は485,618,056円(△3.8%)とそれぞれ減額し、差引額では98,859,123円(23.0%)の増額となっております。

単位:円、%

会計名		平成19年度決算額	平成18年度決算額	増減額	増減率
一般会計	歳入	6,673,313,431	6,855,387,073	△182,073,642	△2.7
	歳出	6,344,801,301	6,608,239,803	△263,438,502	△4.0
	差引額	328,512,130	247,147,270	81,364,860	32.9
国民健康保険特別会計	歳入	2,719,220,045	2,604,590,439	114,629,606	4.4
	歳出	2,588,192,012	2,505,448,506	82,743,506	3.3
	差引額	131,028,033	99,141,933	31,886,100	32.2
老人保健特別会計	歳入	1,796,328,006	1,778,438,946	17,889,060	1.0
	歳出	1,747,325,989	1,734,496,206	12,829,783	0.7
	差引額	49,002,017	43,942,740	5,059,277	11.5
介護保険特別会計	歳入	1,009,902,768	987,216,855	22,685,913	2.3
	歳出	998,194,724	956,996,184	41,198,540	4.3
	差引額	11,708,044	30,220,671	△18,512,627	△61.3
公共下水道事業特別会計	歳入	404,838,914	428,785,820	△23,946,906	△5.6
	歳出	399,143,269	422,079,283	△22,936,014	△5.4
	差引額	5,695,645	6,706,537	△1,010,892	△15.1
農業集落排水事業特別会計	歳入	100,322,176	436,265,140	△335,942,964	△77.0
	歳出	96,791,142	432,806,511	△336,015,369	△77.6
	差引額	3,531,034	3,458,629	72,405	2.1
合計	歳入	12,703,925,340	13,090,684,273	△386,758,933	△3.0
	歳出	12,174,448,437	12,660,066,493	△485,618,056	△3.8
	差引額	529,476,903	430,617,780	98,859,123	23.0

*平成19年度決算書が、役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に備え付けてありますのでそちらもご参照ください。

2. 一般会計決算概要



平成 19 年度の一般会計の歳入総額は 6,673,313 千円、歳出総額 6,344,801 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 328,512 千円となりました。

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源 25,673 千円を控除した実質収支は 302,839 千円の黒字となっており、このうち 200,000 千円を財政調整基金に積み立てし、残額は平成 20 年度への繰越金としております。また、単年度収支については、前年度の実質収支額を上回ったことにより 58,160 千円の黒字となっており、実質単年度収支は、基金取崩しを 70,000 千円行っていることにより、10,475 千円の赤字となっております。

財政状態を示す財政指標のうち経常収支比率は 90.6%と前年度から 0.4 ポイント悪化しました。これは、地方譲与税の減少によるところが大きく影響しており、経常収支比率の更なる悪化と財政の硬直化が予測されます。しかしながら、公債費比率は 14.0%で前年度から 0.4 ポイント好転しています。

平成 19 年度末の地方債の残高は、7,472,905 千円で前年度末より 288,750 千円減少しました。しかしながら、この金額は歳入の 1.12 倍に相当し、依然高水準にあることに変わりはありません。これは地方交付税の代替措置である臨時財政対策債の発行によることが大きな要因です。

一方、財政調整基金残高は、前年度から 81,365 千円増加し 492,423 千円となっており、緩やかな回復傾向にあるものの、依然低い水準のままであることから、さらなる積立を図っていく必要があります。

歳入のうち自主財源は 3,106,263 千円、自主財源比率は 46.5%となっており、前年度と比較しますと額で 249,131 千円の増、率では 4.8 ポイントの増加となっております。また、依存財源は 3,567,050 千円で 53.5%、前年度対比で 431,205 千円、4.8 ポイントの減となっており、これは、町税の増加（前年度比 250,675 千円増）と地方譲与税の減少（前年度比 188,031 千円減）によるものです。

歳出のうち消費的経費は 5,727,852 千円で、前年度対比 164,308 千円（3.0%）の増となりました。内訳としては、人件費及び補助費等が減少し、物件費、繰出金及び扶助費が増となっております。投資的経費は 616,949 千円で、前年度対比 427,747 千円（40.9%）の大幅な減となっており、これは、北公園整備事業費及び七井第 1 土地区画整理事業に係る負担金の減によるものです。

平成 19 年度の主な事業

● 障害者扶助	286,973 千円
● 老人扶助	38,835 千円
● 民間保育所入所運営	408,012 千円
● 児童手当	173,080 千円
● こども医療費助成事業	52,101 千円
● 芳賀中部上水道団企業団補助金	44,936 千円
● 芳賀台地土地改良事業負担金	60,278 千円
● 道路改良・舗装・修繕工事	44,815 千円
● 北公園整備	209,968 千円
● 七井中央通り整備	10,962 千円
● 七井中央通り負担金	87,000 千円
● 幼稚園育成事業	20,374 千円



平成19年度一般会計歳入歳出決算

(単位:千円、%)

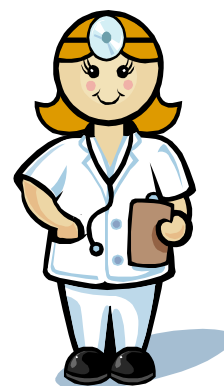
歳 入			歳 出		
区 分	金 額	構成比	区 分	金 額	構成比
○ 自主財源	3,106,263	46.5	○ 消費的経費	5,727,852	90.3
町 税	2,537,806	38.0	人 件 費	1,311,367	20.7
分担金及び負担金	139,351	2.1	物 件 費	560,462	8.8
使用料及び手数料	50,654	0.8	維持補修費	36,615	0.6
財 産 収 入	22,272	0.1	扶 助 費	997,817	15.7
寄 附 金	534	0.1	補 助 費 等	1,080,642	17.0
繰 入 金	171,291	2.6	公 債 費	848,316	13.4
繰 越 金	97,147	1.5	積 立 金	2,453	0.0
諸 収 入	87,208	1.3	投資・出資金及び貸付金	62,500	1.0
○ 依存財源	3,567,050	53.5	繰 出 金	827,680	13.0
地方譲与税	117,843	1.8	○ 投資的経費	616,949	9.7
利子割交付金	11,030	0.2	普通建設事業費	611,022	9.6
配当割交付金	9,780	0.1	災害復旧事業費	5,927	0.1
株式等譲渡所得割交付金	5,659	0.1	失業対策事業費	0	0.0
地方消費税交付金	211,744	3.2			
ゴルフ場利用税交付金	86,690	1.3			
自動車取得税交付金	69,704	1.1			
地方特例交付金	13,698	0.2			
地方交付税	1,642,048	24.6			
交通安全対策特別交付金	2,827	0.0			
国庫支出金	525,325	7.9			
県 支 出 金	442,502	6.6			
町 債	428,200	6.4			
歳入合計	6,673,313	100.0	歳出合計	6,344,801	100.0



3. 国民健康保険特別会計決算概要

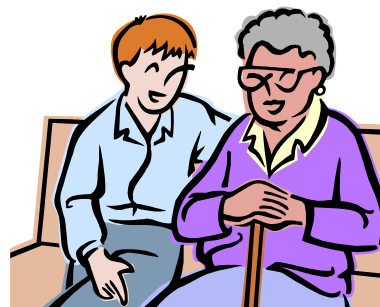
平成 19 年度の国民健康保険特別会計の歳入総額は 2,719,220 千円、歳出総額は 2,588,192 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 131,028 千円となりました。このうち 66,000 千円を財政調整基金に積立し、残額は平成 20 年度への繰越金としております。前年度と比較しますと歳入は 114,629 千円（4.4%）、歳出は 82,743 千円（3.3%）とそれぞれ増額となっております。これは、歳入で、共同事業交付金が 162,834 千円、諸収入が 7,453 千円増加し、歳出において、保険給付費が 61,913 千円、共同事業拠出金が 132,360 千円それぞれ増加したことによるものです。

なお、保険税の収納率は 71.7% で前年度から 1.5 ポイント改善されました。



4. 老人保健特別会計決算概要

平成 19 年度の老人保健特別会計の歳入総額は 1,796,328 千円、歳出総額は 1,747,326 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 49,002 千円となりました。前年度と比較しますと歳入は 17,889 千円（1.0%）、歳出は 12,830 千円（0.7%）とそれぞれ増額となっております。これは、歳入で国庫支出金が 37,558 千円、歳出で医療諸費が 36,108 千円それぞれ増加したことによるものです。



5. 介護保険特別会計

平成 19 年度の介護保険特別会計の歳入総額は 1,009,903 千円、歳出総額は 998,195 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 11,708 千円となりました。前年度と比較しますと歳入は 22,686 千円（2.3%）、歳出は 41,199 千円（4.3%）とそれぞれ増額となっております。これは、歳入で保険料が 6,112 千円、支払基金交付金が 14,866 千円増加し、歳出で保険給付費が 35,235 千円、基金積立金が 2,872 千円増加したことによるものです。

なお、保険料の収納率は 99.4% で前年度から 0.2 ポイント改善されました



6. 公共下水道事業特別会計

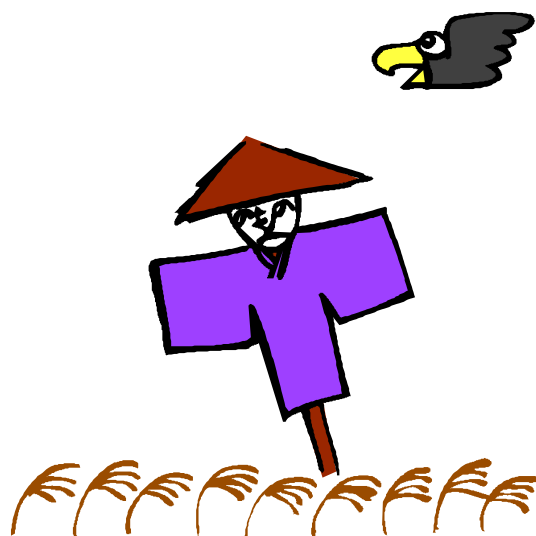
平成 19 年度の公共下水道事業特別会計の歳入総額は 404,839 千円、歳出総額は 339,143 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 5,696 千円となり、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源 216 千円を控除した実質収支は 5,480 千円の黒字となっております。前年度と比較しますと歳入は 23,947 千円（△5.6%）、歳出は 22,936 千円（△5.4%）とそれぞれ減額となっております。これは、汚水管理設工事等が減少（△107,263 千円）したことによります。

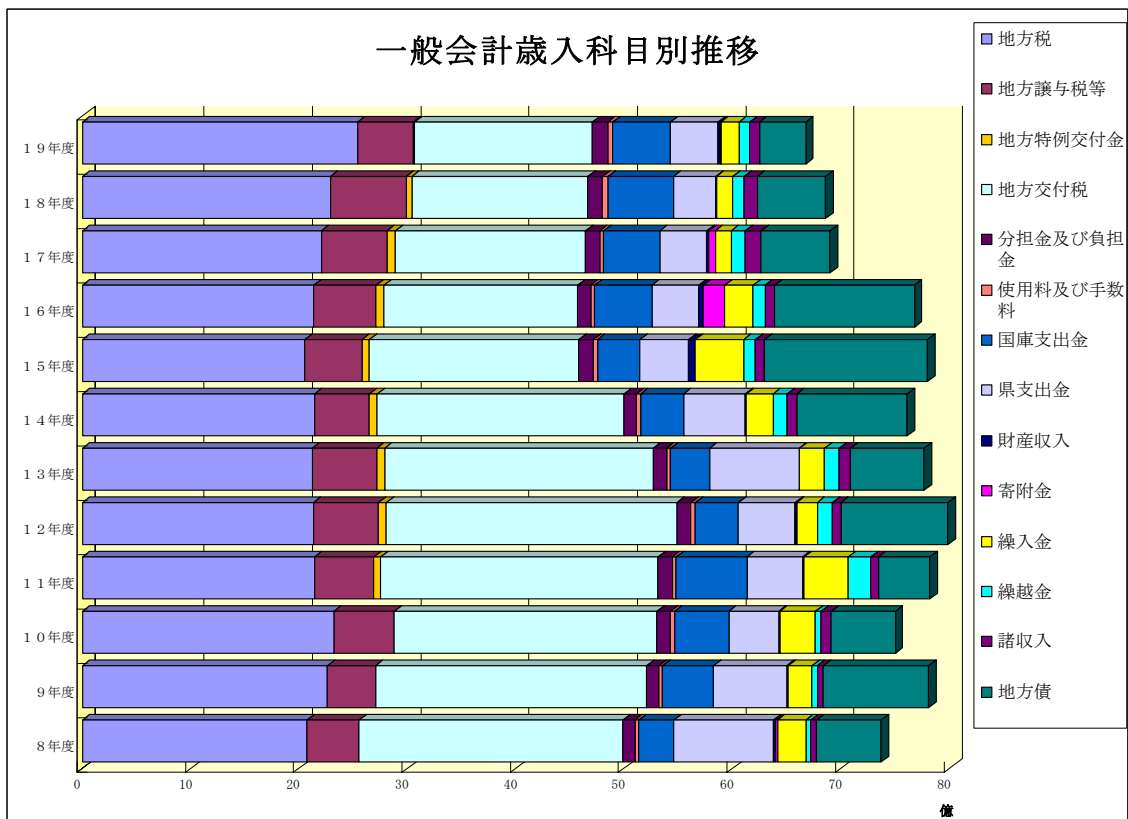
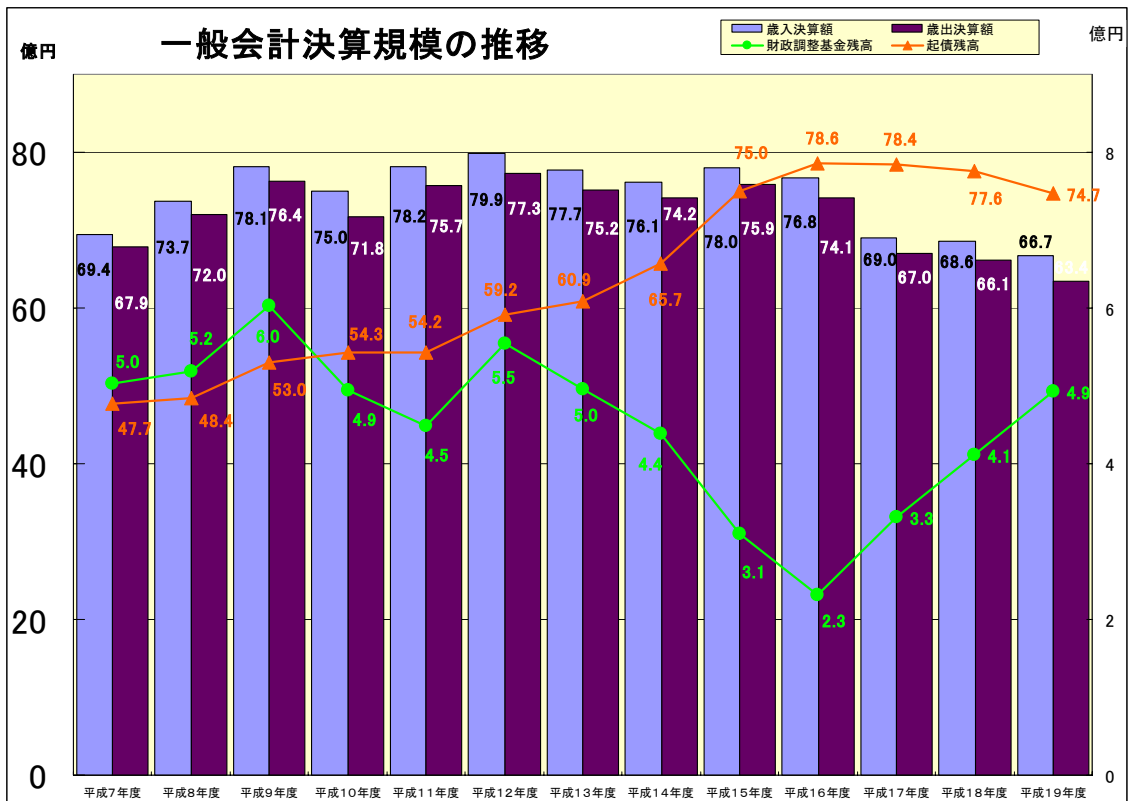
なお、水洗化率は 70.1% で前年度より 2.9 ポイント増加しました。



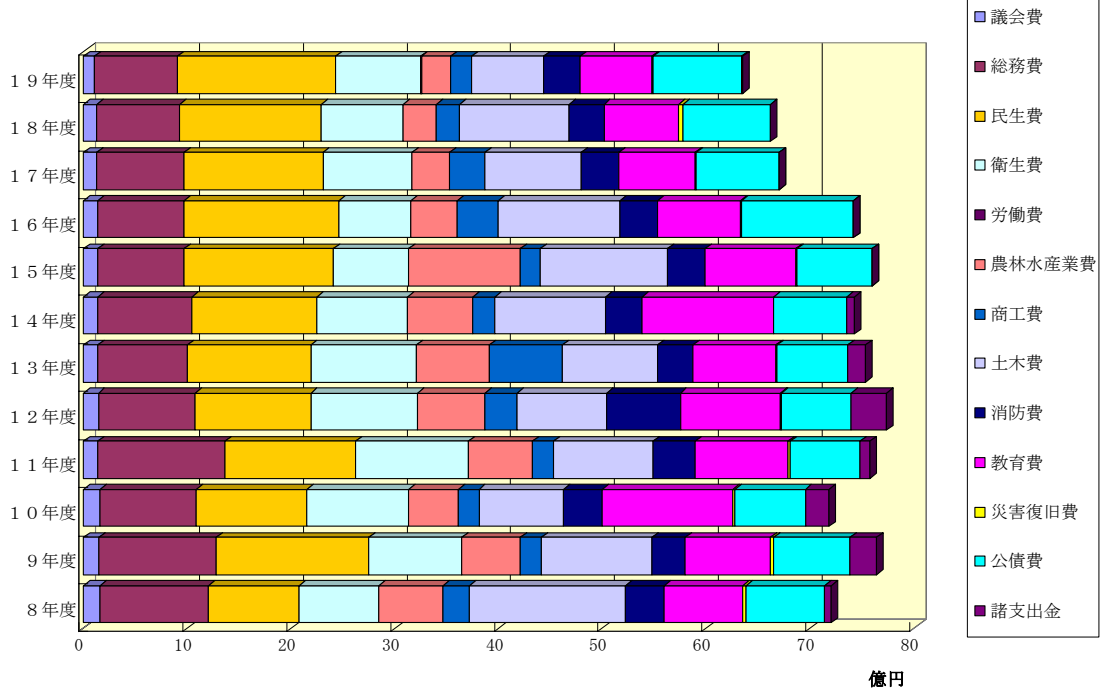
7. 農業集落排水事業特別会計

平成 19 年度の農業集落排水事業特別会計の歳入総額は 100,322 千円、歳出総額は 96,791 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 3,531 千円となりました。前年度と比較しますと歳入は 335,943 千円（△77.0%）、歳出は 336,015 千円（△77.6%）の大幅な減額となっております。これは、東田井地区の処理施設建設工事が終了したことによるものです。





一般会計歳出推移（目的別）



一般会計歳出推移（性質別）

